

5.2 環境改善目標(2) 省エネルギー化(電力部門)

目標 電力消費量の前年比3%削減

具体的方策

- 1 エアコン温度・運転の適正管理
- 2 休憩時間の消灯・必要部分のみの点灯
- 3 1人での残業・休日出勤の抑制
- 4 待機電力の抑制



活動において、目標達成の為に努力工夫したこと

エアコン温度・運転の適正管理

- ・目標温度 冷房28 暖房19
- ・個人の体感温度調査

休憩時間の消灯・必要部分のみの点灯

- ・タスク(個別)照明の活用

1人での残業・休日出勤の抑制

- ・休日出勤申請による意識改善
- ・業務計画の見直し

待機電力の抑制

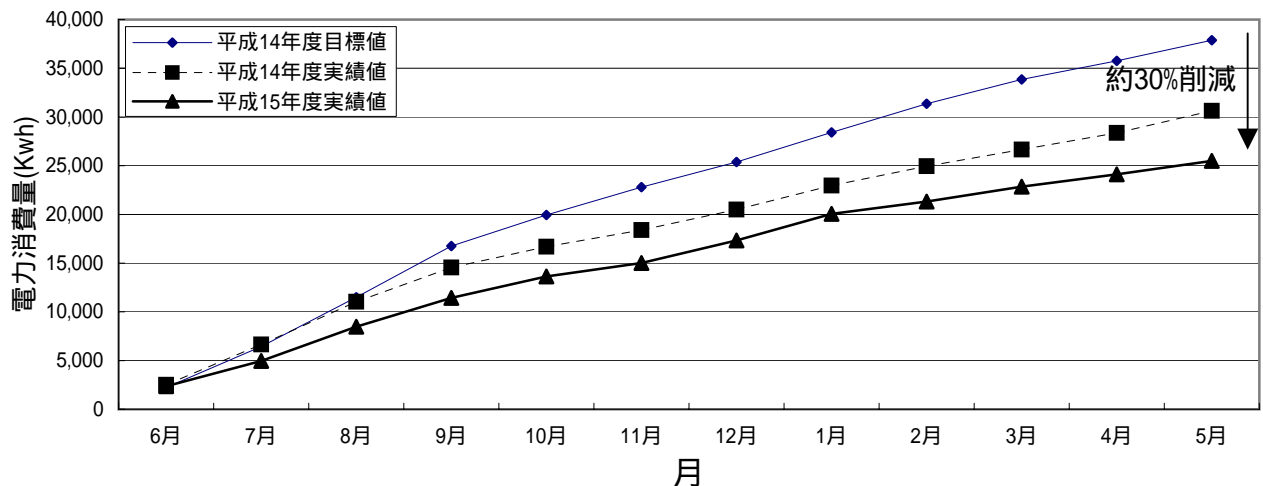
- ・各デスクにSW付コンセントを導入
- ・帰るときはSWを必ず切る(チェックシートでチェックチェック!)

実績

平成14年度、15年度と継続して、目標を達成できました。

しかし、ガソリン同様業務量との相関を把握し、適正な目標値を設定していく必要があると考えています。

図5.2.1 省エネルギー(電力);累積値



タスク照明について

メリット (^o^)

- ・個別に点滅できる。

問題点 (ToT)

- ・全般照明の上にタスク照明をつけると逆効果。

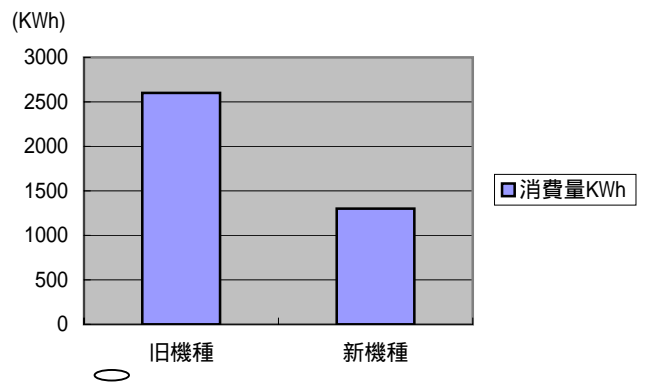
こまめな点滅がポイント！



こんなことも

事務室の空調機がとうとう壊れてしまい、新しい空調機に取り替えたところ、かなり電力消費量が減りました。最近の空調機はインバーター制御や高効率化に伴い省エネ化しています。老朽化している空調設備をリニューアルすることで、ランニングコストと環境負荷を低減できることを肌で感じました。

図5.2.2 空調機消費電力比較(2HP相当年間比較)



現在のエアコンは15年前の機器と消費電力を比較すると、なんと 1/2 です！

たんとうの意気込み

社員ひとりひとりの意識向上がポイントだ！！

熱